

学校と地域をむすぶ

かけはし

大津市立葛川小中学校
地域コーディネーターだより

NO. 5

2017. 11. 9

紅葉祭 みんなの心に 「Happy Memory」

10月7日、「紅葉祭」が行われ、たくさんの地域の方々に来ていただき、体育館は開会前から熱気であふれていました。今年の「紅葉祭」のテーマは、「Happy Memory つくろうぜ!」。中学校の生徒会が中心となり、1学期から企画をしてきました。



午前中は、体育館での発表。小学生は、「うらしまたろうのおにたいじ」の音楽劇。浦島太郎、桃太郎、金太郎などの昔話に登場する人物が一度に出てきます。1学期から、5・6年生が台本を考え、葛川オリジナルの登場人物を作ったり、笑いを誘うせりふを盛り込んだりしてきました。「もっとこんな風に言ってみたらいいよ」「こんな振りつけがいい

いなあ」など、練習を重ねながら自分たちで創り上げてきました。たくさんの人に見ていただき、とても緊張しましたが、今までにないぐらいの大きな声を出すお友だちにつられて頑張って声を出し、ここで笑いをと思うところで笑ってくださるお客さんに答えるように、持てる力をすべて出し切りました。



最後のカーテンコールでは、みんないい笑顔。

中学生は、「イエティーとの戦い」という創作劇。中学生の劇が見られるのは久しぶりでした。ヒマラヤ山脈に住むという謎の生物「イエティー」、戦う猟師や若者たちが展開するミステリー。「あっ、イエティーが!」とドキドキしながらも、笑いを誘う場面もあり。照明や黒衣の役割も重要で、中学生11人がいろいろな役割をこなしながらみんなで創り上げた劇になりました。





ストーリーを考えるとところから、役柄作り、効果音や音楽、映像などすべてがオリジナル。限られた時間を有効に使いながら準備や練習に取り組んできました。創り上げたものをたくさんの方に見ていただき、やりきった満足感いっぱい幕を閉じました。

幕間は、例年にないたくさんの方のエンタリー。小中学生や先生、地域の大林さんや今宮さん、少年自然の家の所長さんが繰り広げる多彩な楽しい発表に、幕間とは思えないほどの盛り上がりでした。

トイレに行くのも惜しいぐらいの熱演でした。



また、小中学生が普段から作ってきたたくさんの作品や、地域の方々の力作を展示した作品展も、たくさんの方々に見ていただくことができました。



午後は、「ふれあい」。小学校5・6年生と中学生が考えた遊びのコーナーや、今年初めてのPTAの方々による「射的」のコーナーを自由に回って楽しむことができました。

マグネットや円盤とばしを作るクラフトコーナーでは、担当の小中学生が作り方をやさしくていねいに教えてくれました。自分で作ったものをおみやげにできるので大喜び。

ジェスチャーゲームでは、グループを作って参加する人、そこに居合わせた人と「いっしょにやろう」と誘い合って参加する人、ゲームの前からみんな気合いが入っていました。お題を見て頭をひねりながらジェスチャーをする人を見ているだけでも楽しくなりました。



恒例のおばけ屋敷は恐怖でした。真っ暗な部屋に入ったところから、もう声や音にびくびくしながら廊下に響くほどの悲鳴を連発してしまいました。こうようにして脱出できた時には、涙が出ました。

射的コーナーでは、手作り割りばし鉄砲で、的をねらいます。なかなか割りばし鉄砲の角度を定めるのが難しく、思ったように的にあたりません。が、「もうちょっと上向けて」などアドバイスをもらいながら、チャレンジ。倒れた的のお菓子をもらうことができました。コーナー担当の人たち、遊びに参加する人たち、たくさんの方が「ふれあい」、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。



そして、迎えた「エンディング」。3年生以上の小学生と中学生、先生方が演奏した「アンダー・ザ・シー」の曲。個別に練習を重ねてみんなで音を合わせてみた合同音楽。難しい指使いや、リズムもありましたが、互いに教え合ったり声を掛け合ったりしながら大曲を仕上げることができました。

たくさんの方々と過ごした「紅葉祭」の一日。演じる人、観ている人、言葉を交わす人、応援する人、たくさんの場面で見つけることのできた「笑顔」。きっとみんなの心の中にはすてきな「Happy Memory」ができたことと思います。朝早くからお越しいただいた地域のみなさま方、ありがとうございました。

たくさんおいもがとれたよ



春に植えたさつまいもの苗は、夏の間大きな葉を茂らせ、待ちに待った収穫の日を迎えました。今年も、4年前に寿会の方々に作っていただいた頑丈な柵と網に守られて、サルや鹿に食べられることなく、夏にはたくさんの野菜も収穫しました。10月はじめ、1・2年生の3人は、寿会の方々に教えていただきながら、さつまいもほりをしました。まずは、いものツルを刈ってもらい、外に運び出します。もうその時に、土の中か

ら赤いさつまいもの姿が見えて、早く掘り出さなくてはうずうず。いよいよ土を掘りおこします。「この辺にありそうだ」とスコップでそっと土をかきわけていきます。「あつた！」引っ張っていもを掘り出します。「わあ～、大きい！」「3つもついてる！」「これは、やきいもにぴったり！」と掘り出すたびに歓声を上げる子どもたち。真っ赤な大きな丸いもや細長いさつまいもらしいも、恐竜みたいないもなど、たくさん掘り出すことができました。掘り出したさつまいもをずらりと並べて数えてみると、何と132個！たくさん



のさつまいもを収穫することができました。いものツルも料理して食べたいという子どもたちの声。「こんな黄緑のところがいいよ」「さっとゆがいて炒め煮するとおいしいよ」と食べ方を教えていただきました。たくさん採れたさつまいもは、恒例の焼き芋にします。いっしょにさつまいもほりをさせていただいた寿会の方々に、子どもたちから「やきいもパーティーをするので来てください！」とさっそくご招待しました。

たくさんのお友だちと

9月30日に、3回目のオープンスクールがあり、たくさんのご家族の方々にお越しいただきました。小中学校のそれぞれの学年では、オープンスクール参加の子どもたちといっしょに1時間の学習をしました。

小学校1・2年生は、生活科の学習で、中村町の探検。はちみつ作りとしいたけ栽培のお話を聞きに有田さんのお家に行きました。いつもは3人の1・2年生ですが、オープンスクールに来られた子どもたちや保護者の方々もいっしょに出かけ、いつもは作ることもない3つの班に分かれて、行列を作って歩いて行きました。有田林吉さんのお話を聞きながら、はちみつもなめさせてもらいました。とろ〜り甘いはちみつです。はちの巣箱も見せてもらいました。そして、ちょっとまだ時期が早いしいたけも、見せてもらいました。



小学校3・4年生は、前回もお世話になった楢村恵次さんに木のお箸作りを教えていただきました。カンナで木を削っていく感触を味わいながら、四角い木がどンドンお箸の形になっていくのを楽しむことができました。

小学校5・6年生は書写の学習です。たくさんの人といっしょに墨で字を書くことはふだんありませんが、熱気あふれる教室で筆を動かすことに気合いが入りました。

ランチルームでの給食は、大にぎわいです。小中学生、オープンスクール参加の子どもたちや保護者の方、そして先生方と総勢80人以上がああランチルームに座ると、もう満杯でランチルームもうれしい悲鳴を上げているようでした。この時間になると、もうすっかりみんな打ち解けて会話もはずみます。昼休みには運動場でいっしょに楽しく遊びました。

午後は、自然の家の30周年記念行事に参加しました。PTAの方々が出されたお店では、葛川の特産品や手作り小物が売られ、子どもたちも品物を持って売りに回りました。また、楢村さん中心に木のお箸作りの体験コーナーも開かれ、たくさんの方がお箸作りに挑戦していました。

合同あいさつ運動

11月1日、初霜のおりたとても寒い朝、青少年学区民会議の方々といっしょに「合同あいさつ運動」が行われました。スクールバスから降りてくる子どもたちに「おはよう！」と声かけられました。たくさんの方々にお出迎えさ



れてちょっと恥ずかしながも、「おはようございます」と子どもたち。朝から声を出すこと、言葉を交わすこと、とても気持ちのいいことです。そして、自分からまず声を出してあいさつをすると、なぜか心も軽やかにすっきりした気持ちになることができます。学校だけでなく、お家で、近所で、いろいろな人と気持ちよくあいさつをしていくことができるといいなあと思います。